

Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



雄武漁業協同組合

ふくだ なおや 福田 尚矢 さん



今回、取材に応じてくれたのは、雄武漁業協同組合の市場で勤務されている福田尚矢さんです。

福田さんは雄武高校を卒業後、旭川大学に進学されましたが、ふるさとである雄武町に戻りたいという気持ちと、雄武町の産業である漁業に貢献したいという強い思いから、昨年の3月に入職。

現在の業務について聞くと「市場では魚田地区を担当しています。漁師さんが獲った魚やホタテ、カニ、タコなどを受け入れて、重さを計り、加工場などの業者さんへの受け渡しといった作業が主になります」「朝の早起きや、漁船の名前と漁獲物など覚えることが多くて大変な部分もありますが、それ以上にやりがいのある

仕事が多く、周りの先輩や漁師さんたちの助けもあって楽しく働いています。これからも、皆さんとより一層いい関係を築けるように一生懸命頑張ります」とこれからの目標についても話してくれました。

休日の過ごし方について聞いてみると「長距離のドライブが好きなので学生時代に住んでいた旭川市などにでかけたり、力仕事が多いので筋トレなどをしています。また、市場の落ち着く冬場でも体がなまらないように早起きを継続しています。今年には町内の漁師さんが参加している野球チームに積極的に参加していきたいです」と公私ともに充実している様子が伺えました。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼友人から餅の食べ方を尋ねられて納豆餅を勧めると、そういう食べ方があるんだと言われ驚きました。調べると、山形県や京都府、北海道などの一部の地域以外ではあまり食べられていないという記事があり、目を疑いました。食べたことがない人は、ぜひ試してみてください。(松井)

▼二十歳の集いに取材でお伺いさせていただきました。若々しくも凛々しい皆さんを写真に撮らせていただいたことで、こちらもエネルギーを貰えた気がします。皆さんに負けないよう私も目標を持って頑張っていきたいと思いました。(結城)